

12月定例会

●会期 12月6日～12月14日(9日間)

4億2,853万円の補正予算 など全21議案を可決



12月定例会議案採決(請願第5号)

今回は
市長提出議案 21件
請願 1件

【請願第5号】 小屋畑屋内ゲートボール場の存続を求める請願

屋内ゲートボール場の請願を不採択

八幡平市の計画では「旧老人憩いの家」の廃止に伴い隣接する屋内ゲートボール場も今後廃止する予定とのことですが、存続を求めるものです。(請願者〃八幡平市ゲートボール協会) 小屋畑ゲートボール場は、唯一市営の屋内ゲートボール場として活用されています。特に冬期間は、市内全域から集まり、現在は6チーム30人で月2回以上交流大会を実施しています。ゲートボールは高齢者の生きがいと健康づくり、親睦と交流に大いに役立っている楽しいスポーツです。ぜひ、小屋畑ゲートボール場施設を存続させていただきまじよう。請願いたします。請願事項1つ目は、小屋畑屋内ゲートボール場を存続していただきたいこと。2つ目は、トイレを洋式または便座式にさせていただきたいこと。3つ目は、水道を修理していただきたいこと。4つ目は、「旧安代老人憩いの家」を取り壊し、跡地に駐車場を整備していただきたいこと。

討論(請願第5号)

【反対討論】 工藤隆一議員

小屋畑屋内ゲートボール場は、平成27年に閉鎖され、市の所有財産取り壊し対象になっている。ゲートボールを楽しむ場所は、近隣に屋内外で使用できる施設がある。現在に至るまで使用していること自体問題がある。使用料も徴収せず、光熱費、修繕費、冬場の灯油代まで、市民の大切な税金で賄う事はいかなるものか。また、建物が古く倒壊の危険性が極めて大である。万が一災害が起きたら、責任の所在はどこになるのか、安全管理の面からも反対である。

【反対討論】 井上辰男議員

同施設は、平成27年4月1日に廃止され老朽化が進んでいる。特に軽量鉄骨造のため、冬場は周囲を除雪しないと危険であり、破損した窓ガラスの破片によるけがや落雪事故が起る可能性もある。正式な手続きや使用記録簿もないまま使用されてきたことは極めて遺憾である。さらに、廃止された施設に公金を支出すること自体看過できない。以上のことから、公共施設の適正な管理、公費の適切な支出、市民の安全を守る観点から反対討論とする。

【議案第1号】 盛岡広域環境組合の設置に関し議決を求めることについて

ごみの焼却処理を盛岡広域で一本化

ごみの焼却処理などに関する事務を共同処理するため、新たに盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町および矢巾町で構成する盛岡広域環境組合を設置しようとするものです。

討論(議案第1号)

【反対討論】 高橋悦郎議員

八幡平市を含む広域8市町のごみを1カ所で焼却する議案である。この計画は、20年前の「岩手県ごみ処理広域化計画」をベースにしたもので、今日のごみ処理の課題にそぐわないものである。国は、ごみ処理広域化の見直しを求めている。そのポイントとは、ごみの減少・地球温暖化による災害の頻発・環境を壊すプラスチックごみなどへの対応である。そのためには、広域ごみ処理ではなく、市町単位できめ細かな処理が求められていることから反対である。

【議案第16号】 令和4年度八幡平市一般会計補正予算(第7号)

災害復旧工事費を含む補正予算可決

歳入、歳出それぞれ4億2853万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を210億8956万3千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

▼公共土木施設災害復旧事業
1億2459万3千円

Q 兄川地区の災害復旧工事の日程はどうなっているのか。

A 市道兄川支線3カ所の災害復旧工事は、11月10日に国による災害査定が実施され、その結果を受けて現在実施設計中である。繰越事業により令和5年度中の復旧完了を目指している。

Q 異常気象が増える中で、災害復旧についてはスピード感を重視して対応してもらいたい。

A 市が対応できるものはスピード感を持って対応していきたい。

令和4年第4回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名(会派名)																		議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
議案第1号 盛岡広域環境組合の設置に関し議決を求めることについて	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	原案可決
請願第5号 小屋畑屋内ゲートボール場の存続を求める請願	●	●	○	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※賛成=○、反対=● 工藤剛議長は採決に加わりません

質問した事項

- 外山 一則 議員 (八起会)..... 6
 - ・大更駅前開発について
 - ・地域公共交通について
 - ・農業振興について
- 関 治人 議員 (八起会)..... 7
 - ・JR花輪線について
 - ・デジタル化について
- 渡辺 義光 議員 (市民クラブ)..... 8
 - ・平館高校の「地域観光実践」の評価と支援について
 - ・鹿角街道の魅力発信と利活用について
- 勝又 安正 議員 (八起会)..... 8
 - ・林業振興と山村振興について
 - ・空き家対策について
 - ・空き教室の有効活用について
- 田村 正元 議員 (八起会)..... 9
 - ・観光振興対策と今後の計画について
 - ・子育て・定住対策と今後の計画について
 - ・エネルギー関連費用の対策と今後の計画について
- 工藤 多弘 議員 (松西会)..... 10
 - ・大更駅前顔づくり施設および市の施設における電気代について
 - ・農業支援について
 - ・平館高等学校振興について
- 北口 功 議員 (無会派)..... 10
 - ・太陽光パネルの今後の課題と展望について
 - ・出産・子育て応援交付金事業について
- 高橋 悦郎 議員 (日本共産党)..... 11
 - ・学校給食について
 - ・学校給食費の改定について
 - ・ごみ処理広域化について
- 齊藤 隆雄 議員 (日本共産党)..... 12
 - ・国民健康保険税の引き下げについて
 - ・農業を支える支援について
 - ・若者が定住できるまちづくりについて
- 熊澤 博 議員 (自由クラブ)..... 12
 - ・酪農・畜産経営の現状と対策について
 - ・災害時要支援者の「個別避難計画」の作成について



そとやまかずのり 外山一則 議員



(八起会)

大更駅前にぎの賑わい創出へ
地域の声を反映しながら



(仮称) 大更駅前顔づくり施設

問 大更駅前開発に向けて定期的に地域の方々と懇話会などを開催してきたのか。
市長 令和2年度まで、定期的に大更商店街未来を創る会、市商工会、大更小・西根中PTAなどの方々と市民ワークショップを開催した。皆さまのご意見を可

能な限り反映する。
問 大更駅前開発の成功は商工会を含めた地域の盛り上がり的大事と考えるが。
市長 道路工事が完成した後に顔づくり施設の整備予定地の空き地も含め、大更駅前イベントを仕掛けながら人を呼び込み、機運の

醸成を図っていく。
問 商業用地10区画の具体的なスケジュールは。
市長 令和5年度の区画整備事業完了に伴い、分譲地の地割番地・面積が確定する。令和6年度には不動産鑑定を行い、価格が決定した後に正式な公募を行う。

市民に寄り添った公共交通の検討を
問 基本計画に「コミュニティバスとスクールバスの混乗・統合の検討を進める」とあるが進捗状況は。
市長 PTAの方々も含めた、多方面での調整が必要

であり、今後協議の場を広げ検討を深める。
問 市民に寄り添ったデマンド交通、乗り合いバス、買い物バスなどの検討は。
市長 まちづくり推進課長 来年度から調査を行い、さまざまな考え方や他市町村の動向も参考にして検討する。



せき ひろと 関 治人 議員



(八起会)

JRからの説明内容は
廃線ではなく利用の促進



駅隣接により利便性を高めている

問 市役所や市立病院、大更駅前開発やハロウスクールは、駅と隣接することで利便性を高めている。仮に廃線となれば都市計画が成り立たなくなるだけでなく、地域格差や過疎化が進むことになるが、見解を伺う。
市長 廃線やモード転換と

いう議論ではなく、ローカル線維持確保連絡会議を中心に利用促進を進めることが大事である。
ドローンで自宅に薬届ける実証実験

問 現在田山地区で行われている遠隔医療やドローン

による物流の実証実験を今後どのように活用するのか。
市長 田山地区で実用化されるよう取り組む。さらに市内の高齢化の進む地域に拡大していきたい。
デジタル技術推進

問 過疎や高齢化の進む地域ほどデジタル技術が必要である。その土台となるマインバーカードの普及率を上げるための対応は。
市長 申請作業のサポート強化や取得によるメリットの周知に努めたい。
問 八幡平市ではスパルタキャンプをきっかけに起業

する若者が増えている。彼らは貴重なデジタル人材であり、サポートの充実が必要では。
市長 八幡平市起業家支援センターは、現在23社37人が利用しているが、手狭になってきているので、2号館の設置を検討中である。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員



(市民クラブ)

地域に飛び出す平館高生

発想と実行力を高く評価

問 平館高校（北島亨校長、生徒150人）は、地元産バジルを活用したクッキーや熔岩パンを開発し販売中である。旧西根町花で絶滅危惧種のムラサキの栽培や紫根染の技法も研究し小学生に伝承している。同校生の活躍にエールを贈りたい。

市長 現地研修や授業を通じて地域資源を掘り起こし新たな発想でモノづくりや伝承活動に果敢に挑戦する平館高校生を高く評価する。観光人財育成や学生起業に結び付けるよう支援する。
教育長 平館高校は八幡平市にとって無くてはならぬ

い高校である。県内で高校再編など課題がある中、これらの諸活動は愛校心の醸成や存在感を高めるものであり、教育委員会としても小中学校と連携し支援する。

屋町を起点とし、当市を縦断し大館市に至る約1000mの古道の一部が文化庁の「歴史の道百選」に選定。街道筋には県内でも貴重な連続4力所（8基）の一里塚や追分碑など多数の文化財が散在する。街道の魅力発信と利活用について伺う。

市長 鹿角街道は歴史的にも重要な文化遺産であり、当市の新たな観光・文化資源として大きな価値がある。地域学習の創出やまち歩き観光ガイドを養成したい。観光、地域振興、土木など各分野を網羅した保存活用計画策定が必須と考える。



バジルクッキーを販売する平館高生



かつまたやすまさ
勝又安正 議員



(八起会)

林業振興と山村振興

森林の公益的機能増進を

問 近年の森林環境譲与税の活用内容について伺う。
市長 森林航空レーザ計測および森林解析等業務委託、林業新規就農者支援事業、木質燃料等利用設備設置事業支援等に活用している。今後も適切な森林整備の促進助成を進めていく。

問 林業従事者の雇用安定と安全対策への取り組みは。
市長 林業への若者の関心度が上がっている。危険作業が伴うため従事者を確保し就業促進するには安全な環境整備が必須となり、労働安全装備品や無線機などの購入補助を検討している。

問 伐採後の再造林意欲を引き出す対策を取ったか。
市長 造林に対する国や県の補助率に15%のかさ上げ補助を実施。持続可能な経営を目標に、「伐採し、木材を利用し、植林して育てる」循環利用を続け、資源の将来性を高めていく。

空き家バンクの運用と活用方法
問 空き家利活用セミナーの運用状況を伺う。
市長 空き家の利活用方法のほか、法に基づく行政代執行や改修補助金などの説明を行っている。

問 空き家バンク運用の今後の動向と取り組み方は。
市長 空き家バンクの新規登録件数、成約数が増加している。出前講座やセミナーでの具体的・専門的なアドバイスにより、さらなる増加を図り、適正な管理を進めていく。



製品化された八幡平市産材置き場



たむらまさもと
田村正元 議員



(八起会)

誰が責任持ち推進するか 観光振興計画を検証する

問 第4期八幡平市観光振興計画について、誰が責任を持って推進していくのか。
市長 10年後、20年後を見据え、観光に関わる若手事業者の意見を取り入れ策定したもので、地域が一体となった仕組みにより、計画を推進していきたい。

問 計画を策定しても実行する責任者が明確でなければ引き継ぎがうまくいかず途中倒れになってしまふ。強固な組織で進めてほしい。
商工観光課長 議員ご指摘のとおりと認識している。KPI（指標）、目標値を定め、実行していきたい。

育児休暇の状況は

問 市内在住の男性社員の育児休暇の取得の状況はどのようになっているのか。
市長 市の状況は県の調査と同様の傾向にあると推測する。政府が掲げる令和7年度までに取得率30%とい

エネルギー費用に 関する補正計上額

問 9月定例会で電気・重油などのエネルギー費用に
関する補正総額と今後の補正予定について伺う。



八幡平の雄大な自然は貴重な資源

市長 9月定例会では、総額1590万円を計上した。12月定例会においては、公共施設全体で燃料費、光熱水費の支出増が見込まれることから、総額3866万円を補正計上している。国の支援策など分り次第、対策を検討していきたい。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くどうたひろ 工藤多弘 議員

(松西会)



一般家庭へ地熱電力を 一定規模の高圧電力契約

問 松川地熱発電所および松尾八幡平地地熱発電所で発電した電気は、市内でどのように使用されているのか。

市長 高圧電力を使用する事業者に対し、地熱電気95%の「八幡平地地熱プラン」、トラッキング付き非化石証書が付加された「八幡平地

熱ゼロエミプラン」として販売され、市総合運動公園道の駅にしねのほか、市内企業と契約している。

高騰対策の公平性

問 肥料・飼料高騰対策について、1月から9月までに納品されたものが対象と

なっているが、対象外の農家への支援を強く求める。
市長 対象時期の見直しについては、認定農業者協議会など各団体との協議の中でもご要望、ご意見を受けている。国、県の支援策もあり、今の制度設計の中で整理した上で検討したい。

平館高の存続発展

問 平館高校は当市の人材養成、市政発展のための社会インフラの一つである。存続発展支援のため市長部局に振興係を設置しては。

市長 学校運営協議会で、「学校魅力化促進に向けた



高圧電力契約の市総合運動公園

行事や事業の実施」「平館高校をより知ってもらうための情報提供」など広く保護者や地域住民、地元企業の声を聴き、生徒との協働を図り、振興に係る取り組みを進めていると理解しているため、現時点で設置は考えていない。



きたぐち いさお 北口 功 議員

(無会派)



適正処理の仕組み急務 産業廃棄物は県が処理



林の手前に設置された太陽光パネル

問 これまで太陽光パネルを設置するため、山林伐採や農地転用をした箇所の実態調査はしたのか。

市長 全ての箇所の実態調査は、できていない状況である。

問 環境省は、30年代後半の廃棄量を現状の100倍

以上となる年間50万から80万トと試算している。新設される盛岡広域環境組合でパネル処理対策を検討する考えはあるか。

問 安心安全な環境の保全を目的とし、防災対策、生活環境対策および自然環境対策の財源のために事業用発電パネル税を導入しようとしている自治体があるが、検討する考えはあるか。

大臣の同意が必要であり、まだ協議中と聞いている。
出産・子育て応援交付金事業の内容
問 厚生労働省より各自治体に説明のあった内容は。

け、ニーズに即した支援を目的とした伴走型相談支援の充実と、実効性をより高めるための経済的支援である出産・子育て応援ギフトを一体的に実施することで、必要な支援が確実に妊婦・子育て家庭に届くことを目的としている。



たかはしえつろう 高橋悦郎 議員

(日本共産党)



給食費無料で子育て支援

予算の確保が難しい

問 少子化対策が当市でも最大の課題である。このようなか、子育て支援として学校給食費の無料化が全国で急激に進んでいる。全国で257自治体、全体の15%が無料化している。なぜ無料化が進んでいるのか、当市でも実施できないか。

教育長 少子化対策など子育て支援や定住・転入の促進を図る対策が背景にある。当市の場合、給食費無料化には年に6160万円必要になる。継続的に予算を確保するのは難しい。

無料化がある。12年前は小学校入学前までであったが、今は高校卒業まで拡大された。全国も同じ流れで進んでいる。学校給食無料化も同じ流れで進んでいくものと思われるが見解は。

市長 子どもの医療費無料化は来年度から県内全てで



西根・松尾地区学校給食センター

費無料化や出産祝い金の財源に使っている過疎債を使うことはできないか。
市長 給食費無料化の財源としては可能と思われる。しかし、過疎債も借金であり増やすことには慎重でなければならぬ。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



さいとう たかお 齊藤隆雄 議員



(日本共産党)

国民健康保険税引き下げ

子どもの均等割負担軽減



国民健康保険特別会計決算書

問 子どもの所得がゼロであるのは明白であり、均等割の免除は当然と考えるが、**市長** 一律に免除した場合応能割と応益割のバランスが崩れるほか、小学生以上の軽減には国の支援がない。
問 国保財政基金の残高は、**市民課長** 3年度末で3億

6406万497円である。
問 国保税は目的税であり必要以上に賦課するべきでないと考えますが、見直しは、**市長** 県内の保険税水準統一の動向を注視するが、現在は見直しを考えていない。
農業を支える支援

問 水田活用の直接支払交付金の見直しによる減収は、**市長** 1億5500万円程であると推測される。
問 5年水張りルールは、花卉やリンドウ、そばの収穫量などに影響があるか。
市長 水張りとは、水稲作付を行うことである。大き

な影響を受けるリンドウなどは、例外として除外を要している。
問 農業に関わる全ての物が高騰している。来年は、さらに経営が厳しくなると考えるが、市の支援策は、
市長 現在肥料・飼料の高騰対策支援を実施している。

今後とも国や県の動きを注視しながら支援を検討する。
子育て支援住宅を
問 市で整備し、若者に格安で提供し定住を促しては、
市長 移住・定住促進の観点から一考に値する方法の一つであると捉える。



くまざわ ひろし 熊澤 博 議員



(自由クラブ)

酪農・畜産経営は限界感

全てにおいて厳しい状況



稼働を始めた繁殖育成センター

問 ロシアによるウクライナ侵攻や円安で、輸入の飼料や原油は高騰し、酪農・畜産経営は圧迫されている。それぞれの現状を伺う。
市長 近年の経営を取り巻く状況は、飼料価格の高騰によるコスト増が経営を圧迫し、全ての経営体におい

て厳しい状況と捉えている。
問 酪農・畜産それぞれの経営への救済策を国、県へ要望する考えはないか。
市長 市としては今後も国、県、他市町村の支援策の状況を確認しながら、必要に応じて酪農・畜産経営の支援を検討していく。

問 繁殖育成センターの運営内容と今後の見通しは。
市長 11月末現在の預託状況は、肉用牛が115頭の26戸、乳用牛が78頭の7戸で、計193頭の33戸、これまでの出産頭数は27頭となっている。預託頭数の増加を推進していきたい。

災害時の避難計画
問 国は市町村に高齢者や障がい者ら災害時要支援者の個別避難計画の作成を努力義務としているが。
市長 本年9月末現在で3162人の避難行動要支援者名簿を作成している。今

後は避難支援等実施者とのマッチングに着手し個別避難計画の作成を進めていく。
問 要支援者が特別拒否しない限り名簿情報を平時から関係機関に提供できる条例を施行すべきではないか。
市長 他の自治体も参考にし、取り組んでいきたい。

議会の動き

(10月1日～12月31日)

10月

- ▶ 3日 議会運営委員会
- ▶ 6日 議会広聴広報常任委員会
- ▶ 12日 議員全員協議会、議会運営委員会
- ▶ 17日 令和4年第4回臨時会、議会運営委員会
- ▶ 25日 令和4年盛岡北部行政事務組合議会第2回定例会
- ▶ 26日 会派視察研修（八起会・市民クラブ・無党派）（～28日）

11月

- ▶ 8日 盛岡地区広域消防組合議会11月定例会
- ▶ 10日 議会改革推進会議議員研修会（ワークショップ）
- ▶ 14日 産業民生常任委員会所管事務調査（～16日）
- ▶ 18日 議員全員協議会
- ▶ 19日 令和4年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」
- ▶ 22日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会
- ▶ 26日 令和4年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」
- ▶ 30日 令和4年第5回臨時会、議会運営委員会

12月

- ▶ 5日 第4回タブレット操作研修会
- ▶ 6日 令和4年第4回定例会（～14日）、議会広聴広報常任委員会
- ▶ 8日 総務教育常任委員会
- ▶ 9日 産業民生常任委員会
- ▶ 12日 議会運営委員会
- ▶ 14日 議会運営委員会
- ▶ 19日 議会改革推進会議議員研修会（講演会）
- ▶ 21日 議会広聴広報常任委員会



11月10日の研修会で意見を出し合う様子

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。